

5 領域（運動・感覚）とのつながりを明確化した支援内容

●項目	●ねらい
運動・感覚	①姿勢と運動、動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用
●具体的な支援内容	
<p>【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動あそびを行う。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 <p>【姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢の保持や着席の持続が困難な場合、様々な補助用具等の補助的手段を活用して姿勢保持や着席等ができるよう支援する。 <p>【保有する感覚の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 <p>【感覚の統合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った動きを多く取り入れた遊びの設定をする。 ・トランポリン、リズム遊び、全身運動などを行う。 ・感触遊びなどを取り入れた活動を設定する。 <p>【感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 ・聴覚過敏にはイヤーマフの提供等。 	